

No	22												
指標名	院内他科入院中の精神科診察依頼頻度												
定義	<p>(分子)院内他科入院中患者の精神科診察件数  (分母)病床数/100  ※病床 100 あたりの件数</p>												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院</th> <th>全国中央値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年度</td> <td>9.4</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>13.3</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>14.2</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2015年度、2016年度、2017年度における当院のデータ  (全国)2015年度、2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点)  ※他院との詳細な比較につきましては「<a href="#">全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業</a>」のページをご参照ください。</p>	年度	当院	全国中央値	2015年度	9.4	7.3	2016年度	13.3	8.8	2017年度	14.2	10.0
年度	当院	全国中央値											
2015年度	9.4	7.3											
2016年度	13.3	8.8											
2017年度	14.2	10.0											
コメント (解説)	<p>生活習慣病やがんなど身体疾患で入院していても、精神的な問題を抱えていたりすることがあります。  その場合、状況により主治医が対応したり、精神科の専門的な対応が必要な場合には紹介により精神科医師が対応します。  最近では、ご高齢の患者さんが多くなり、認知力が低下していたり、環境が変わる事でせん妄になってしまう患者さんも増えております。  当院の精神科医は非常勤医師ですが、全国中央値に比べ、高い値であり、最近は増加傾向となっています。  患者さんを多角的に診療していることとなります。  より高い値を目指しています。</p>												